

全木連時報

3月25日(金曜日)
(第636号)(毎月25日発行)
平成23年(2011年)

発行所
社団法人 **全国木材組合連合会**
編集長 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

震災お見舞い申し上げます

このたびの、東日本大震災で
被災された皆様に心より
お見舞い申し上げますとともに、
被災地の一日も早い復興を
お祈りいたします。

第38回JAS製材品普及推進 展示会入賞工場を表彰



昨年九月から十一月にかけて、全国六カ所の木材市場で開催された今年度のJAS製材品普及推進展示会(第三十八回)の受賞出品工場がこのほど決定し、うち、主催三団体特別賞、農林水産大臣賞、農林水産省消費・安全局長賞、林野庁長官賞について、三月九日に東京で表彰式が開催され、各賞が授与された。また、各開催市場への感謝状が主催者から贈られた。主催団体の会長賞および優良買方への感謝状は、別途開催市場で伝達される。

表彰式で、挨拶にたった並木全木連会長は「難しい時期であった中で、出品量、出品工場数は、やや昨年を下回る規模での実施となったが、関係者の努力に感謝。建築をめぐる環境も変わり、消費者、

需要者に安心して使ってもらえる品質の確保されたJAS製材品への評価が高まっているが、普及が不十分。供給を増やすことが大事。全木連も努力したい。」と強調した。また、審査委員長である富田文一郎日本木材加工技術協会会長は講評として、「出品数は六十九社、七百五十八㎡と、昨年までの開催市場のうち一市場減少の分、全体量は減ったが、東海木材相互市場大口市場で多数の集荷に努めていた。出品の材については、高い点数での出品がある一方、形量表示に不注意なミスが目立った。建築サイドが本格的に木造に取り組んでいこうとすれば、当然JAS製品が求められる」と述べた。

これに続いて、各賞の授与が行われた。農林水産省、林野庁の祝辞があり、最後に受賞者を代表して小林製材(株)から謝辞が述べられ閉会した。

▼受賞者は次のとおり。
注(一)内は工場所在都道府県。
順不同。

- 農林水産大臣賞**
株式会社沓澤製材所(秋田)
伊藤林産有限公司(岐阜)
株式会社丸左木材(岡山)
小林製材株式会社(岡山)
消費・安全局長賞
有限会社菊池製材所(岩手)
株式会社佐藤製材所(宮城)
中国木材株式会社(茨城)
金子製材株式会社(埼玉)
桑原木材株式会社(岐阜)
宮川森林組合(三重)
斎藤木材有限公司(三重)
セイキ林業株式会社(岡山)
山下木材株式会社(岡山)
有限会社太平製材所(岡山)
株式会社鈴鹿製材所(岡山)
大林産業株式会社(山口)
林野庁長官賞
柴木材株式会社(富山)
有限会社倉地製材所(岐阜)
恵那小径木加工協同組合(岐阜)
株式会社丸七ヒタ川ウッド(岐阜)
株式会社東海木材相互市場(愛知)
中勢森林組合(三重)
ウッドピア流通検査協同組合(三重)
株式会社山長商店(和歌山)
牧野木材工業株式会社(岡山)
銘建工業株式会社(岡山)
宮迫木材株式会社(広島)
合資会社立山製材所(熊本)
株式会社佐藤林業(熊本)
熊本モルダー加工事業協同組合(熊本)
株式会社日田十条(大分)
木脇産業株式会社(宮崎)
- 全木連会長賞**
株式会社庄司製材所(山形)
グリーンウッドタクミ協同組合(三重)
土井木材株式会社(岡山)
中国木材株式会社本社工場(広島)
中村製材株式会社(熊本)
有限会社小林木材(熊本)
九州林産株式会社(大分)
宮内林業株式会社(宮崎)
全市連会長賞
東北木材株式会社(秋田)
越井木材工業株式会社(茨城)
有限会社森製材所(岐阜)
院庄林業株式会社久米工場(岡山)
有限会社山洪木材(岡山)
株式会社田中材木店(熊本)
株式会社松島木材センター(熊本)
株式会社木谷製材所(熊本)
全貫連会長賞
株式会社一戸製材所(岩手)
坂本商店(奈良)
有限会社須田製材所(岡山)
河井林産株式会社(岡山)
有限会社三和物産(熊本)
天草地域森林組合(熊本)
山佐木材株式会社(鹿児島)
優良開催市場
株式会社東海木材相互市場
優良買方
丸勝木材株式会社
笠井木材株式会社
株式会社ナゴヤ辻文
水口木材株式会社
株式会社マルタニ
善徳丸建材株式会社

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種保障制度

おかげさまで35年
中型グループ

従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に
	任意労災保障制度	労働災害への対策に
経営者のために 総合保障プラン	木退共	従業員の退職金の準備に
	積立終身	経営者の退職金などの準備に

などの備えに
 ケガ・病氣入院

全国木材協同組合連合会
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
 TEL 03-3580-3215(代)

全木連・全木協連合同 常勤役員・事務局長等会議開く

全木連と全木協連は二月十七日に東京新木場の木材会館で合同の常勤役員・事務局長等会議を開き、平成二十三年度政府施策や全木連、全木協連の事業計画案などについて検討した。

これは、各都道府県木協連等から事務局の責任者が出席して、毎年この時期に行っているもの。会議は、並木全木連会長の挨拶で始まり、この中で「木材業界の供給体制は整いつつあるが、住宅着工数の減少は業界の浮沈にかかわる。中国の躍進、日本の低下という状況の中で我々はやっていかねければならない。国産材五十%という課題があつて、公共建築物等木材利用促進法制度の施行などもある。」と述べた。

この後、平成二十三年度の政府施策について、測上和之林野庁木材産業課長、池淵雅和林野庁木材利用課長、田中敬三国土交通省木造住宅振興室企画専門官から説明を受けた。

次いで議事に入り、全木連、全木協連の平成二十三年度事業計画の策定について事務局より説明のうえ、意見交換した。

次に、全木連、全木協連の事業運営等について意見交換した。これは、公益法人改革の対応として、全木連の一般社団法人への移行問題にあたり、全木連の事業組立を見直すもの。

全木連の事業計画は、例年のとおり昨年末から、全木連事務局全体で検討してきたもの。平成二十三年度の重点事項は、①総合的な木材利用促進の取組②木材産業の再興に向けた産業構造の確立③住宅等建築物への木材利用促進④品質の確かな木材製品、認証木材等の普及⑤健康・安全対策の推進⑥

全木連活動の活性化等の取組である。会議で出された意見を踏まえ、加筆のうえ、三月の総会に諮り決定する。

最後に、木材産業をめぐる最近の諸情勢について、①木造計画・設計基準(仮称)及び同資料②「住生活基本計画(全国計画)の変更(案)」に関する意見の募集③建築基準法体系勉強会についての検討状況④今後の中小企業資金繰り支援策⑤木材産業等高度化推進資金制度⑥木材産業に関連するカーボンビジネス制度の動向⑦公共建築物における木材の使用促進HPと都道府県基本方針の策定状況⑧平成二十二年違法伐採木材排除のための合法木材利用推進事業⑨技能検定の「製材のこ目立て職種」の統廃合⑩全木協連関係事業の推進(木材産業のための助成制度)⑪「木の家耐震改修推進会議in神戸」の概要⑫第二回「新たな木材利用」事例発表会⑬平成二十二年年度版写真で見る「木」の施設(木造事例集その二十五)⑭平成二十三年全国会議等の日程⑮補助事業の成果報告会(2×4住宅部材、林地残材フル活用)などについて報告・連絡したほか、県木連からの情報提供を受け、意見交換の後、終了した。

全木協連は、三月四日、東京新木場の木材会館で、国産材を用いた2×4住宅部材の研究開発に関する成果報告会を開催した。

当日は、十四の事業体から報告があり、これを発表内容により①構造用製材②トラス・I型梁③複合パネル・耐力壁の三分野の順に行った。

最後に、委員長総括があり「オールドジャパンで出来たことを良くする。以前に比べれば国産材での取組み意欲が見られた。業界がめざめる契機になることを望む。報告の数字はまだ整理が必要、数字の一人歩きはしないでほしい。このような仕事はデータの積み重ねが必要。継続的な予算が必要。行政が先頭に立たねば、国産材五十%は無理だ。」

発表と発表者は次のとおり。信州産木材204高耐久構造材開発に関する事業(県産材販路開拓協議会)

県産スギ材の2×4部材としての適合性立証普及事業(郡山チップ工業(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材開発・地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

国産材2×4住宅部材の開発 成果報告会を開催

全木協連は、三月四日、東京新木場の木材会館で、国産材を用いた2×4住宅部材の研究開発に関する成果報告会を開催した。

当日は、十四の事業体から報告があり、これを発表内容により①構造用製材②トラス・I型梁③複合パネル・耐力壁の三分野の順に行った。

最後に、委員長総括があり「オールドジャパンで出来たことを良くする。以前に比べれば国産材での取組み意欲が見られた。業界がめざめる契機になることを望む。報告の数字はまだ整理が必要、数字の一人歩きはしないでほしい。このような仕事はデータの積み重ねが必要。継続的な予算が必要。行政が先頭に立たねば、国産材五十%は無理だ。」

発表と発表者は次のとおり。信州産木材204高耐久構造材開発に関する事業(県産材販路開拓協議会)

県産スギ材の2×4部材としての適合性立証普及事業(郡山チップ工業(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材開発・地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

地域材(徳島杉)を利用したツーバイフォー部材としての合板代替品の開発(大利木材(株))

目次
二面 JAS製材品展示会入賞工場を表彰
三面 常勤役員・事務局長等会議 開き来年度事業などを検討
四面 国産材2×4住宅部材開発の報告会開く 全木連PR委員会を開催 景況調査

景況調査=全木協

23年2月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数108 回答数57 回収率53%

当月の状況

販売量	増加32% (18)	変わらず38% (21)	減少30% (17)
仕入量	増加35% (20)	変わらず37% (21)	減少28% (16)
販売価格	上昇18% (10)	変わらず75% (43)	下降7% (4)
仕入価格	上昇47% (27)	変わらず53% (30)	下降0% (0)

来月の見通し

販売量	増加47% (27)	変わらず42% (24)	減少11% (6)
仕入量	増加40% (23)	変わらず46% (26)	減少14% (8)
販売価格	上昇28% (16)	変わらず70% (40)	下降2% (1)
仕入価格	上昇47% (27)	変わらず53% (30)	下降0% (0)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	24% (12)	76% (38)	0% (0)
南洋材	36% (16)	60% (27)	4% (2)
北洋材	50% (24)	42% (20)	8% (4)
国産材	60% (31)	36% (19)	4% (2)
建材	51% (24)	45% (21)	4% (2)

乾燥材取引の頻度	増加 19% (10)	変わらず 81% (44)	減少 0% (0)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数116 回答数62 回収率53%

当月の状況

販売量	増加29% (18)	変わらず39% (24)	減少32% (20)
仕入量	増加19% (12)	変わらず54% (33)	減少27% (17)
販売価格	上昇21% (13)	変わらず79% (49)	下降0% (0)
仕入価格	上昇39% (24)	変わらず58% (36)	下降3% (2)

来月の見通し

販売量	増加53% (33)	変わらず42% (26)	減少5% (3)
仕入量	増加37% (23)	変わらず50% (31)	減少13% (8)
販売価格	上昇15% (9)	変わらず79% (49)	下降6% (4)
仕入価格	上昇29% (18)	変わらず58% (36)	下降13% (8)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	30% (8)	70% (19)	0% (0)
南洋材	32% (7)	63% (14)	5% (1)
北洋材	57% (13)	39% (9)	4% (1)
国産材	50% (27)	43% (23)	7% (4)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 67% (8)	1ヵ月 33% (4)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	------------------	----------------	-----------------

全木連PR委員会を開催
23年版ポスターの作成などを検討

全木連は、二月十八日にPR委員会を開催し、平成二十三年版木材PRポスターの作成などについて検討した。PR委員会は毎年この時期に開催しているもの。

PRポスターは、平成八年から毎年作成しており、比較的簡便な全国统一PRグッズとしてのニーズも根強いことから、平成二十三年も引続き作成する。会議では、これまでのテーマの流れに沿って、何を主張するポスターを作るのか

意見は幅が広いが、昨年版の評価をベースに「健康と木造住宅」の内容で作成することとなった。

昨年のポスターの評価は概して好評であり、理由としては、モデルが子供であったこと、図柄と表現したい事項が適合していたこと、暖かみがあったことなどが挙げられている。反対に、ここ二、三年変わりがあえない、地域によって環境が

違うので、地域にあった家づくりのPRが出来るものが望ましいといった意見もあった。また、小学校での風景、三世代住宅での木材利用を訴えるものもほしいといった新しい要望が出された。

これを踏まえ、二十三年版のポスターについては、これまでの「健康」テーマを継続することとし、対象は木材で家を建てたいと思っている人に、木造住宅の住空間の暖かさ、清潔感などを訴えるポスターをめざす。

林業・木材産業経営安定化保証

(通称フォレストパートナー保証)を受け付けています。

- ◎ 木材産業等高度化推進資金や間伐資金などで100%保証が受けられます
- ◎ 最大8,000万円まで無担保保証が受けられます(運転資金)



詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)
TEL 03(3294)5585 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com